

2015年7月日本建築学会東北支部役員会議事録（案）

日時：平成27年7月31日（金）15：00～17：00

会場：日本建築学会東北支部

出席者：源栄・有川・高橋・小林・福屋・藤田・志賀・苅谷・齋藤・宮腰・伊藤/瀧（事務局）

欠席：手島・川村・濱口・パリーク・永井

1. 前回議事録の確認

- ・有川常議員が5月役員会議事録【資料1】を読み上げ、内容の確認を行い、了承された。

2. 報告事項

1) 6月理事会報告・7月理事会報告

- ・源栄支部長が【資料2】に基づいて、6月22日および7月17日に開催された理事会の議事の要点について報告を行った。特に、支部活動企画、グローバル時代を生きぬくことができる建築人の育成特別委員会設置について、論文集のSCI申請状況、2015年建築学会大会懇親会の申込み依頼などについて説明した。

2) 5月・6月会計報告

- ・志賀常議員が【資料3】に基づいて報告を行った。主に「みちのくの風」関連の出費が占めている旨の説明があった。
- ・2013年度と記載されている箇所を2015年度に修正するよう指示があった。

3) 2015年度支部総会開催報告と次年度への引き継ぎ事項

- ・有川常議員および事務局が【資料4】に基づいて報告を行った。
- ・小地沢前常議員からの引き継ぎ事項について説明があり、総会成立要件（4月時点の会員数を使用しているが正しくは5月時点の会員数とすべき点）について運用上現状のままとすることを確認した。

4) みちのくの風2015山形開催報告

- ・有川常議員が【資料5】に基づいて報告を行った。
- ・表彰式における小中学生のスピーチについて、小林常議員から、応募者側の組織構成メンバーだったことを理由に了承したこと、クライアント側の依頼であれば拒否する予定であったことの説明があった。
- ・「みちのくの風」と「技術セミナー」は（特定企業への肩入れを懸念して）別事業として企画していたが、共催しているような印象を持った参加者がいたので、周知の在り方について確認する。

5) 作品選集2016応募作品と支部専攻部会審査経過報告

- ・福屋常議員が【資料6】に基づいて報告を行った。
- ・バラバラの作品を一群として申請されたものを今後は受け付けないとの説明があった。

6) 2015年度日本建築学会設計競技 支部審査報告

- ・福屋常議員が【資料7】に基づいて報告を行った。
- ・今年は応募数が少なかったため、応募を呼びかける対策、遅刻は認めない旨を周知する方策を検討することになった。

7) 2015年度災害委員会支部市民企画の採択報告

- ・事務局が【資料8】に基づいて報告を行った。
- ・市民企画講座の支部申請が採択されたことが周知された。

8) JIA 東北支部からの後援依頼承諾の報告

- ・事務局が【資料9】に基づいて東北建築学生賞への後援依頼内容について報告を行った。

9) 委員による立替費用ならびに概算払い事業費の精算について

- ・事務局が【資料10】に基づいて報告を行った。
- ・一人当たりの飲食費が5000円を超える場合は「社外会議費精算書」の作成が必要。
- ・経費精算書の書式について、今年度分について従来の東北支部の書式で構わないか本部に確認中。

10) 日本建築学会大会（東北）について

- ・事務局が【資料11】に基づいて報告を行った。
- ・2018年度の大会は「支部創立70周年」と重なる。

11) 日本建築学会東北支部2011年東日本大震災災害調査報告CD-ROM版発刊の報告

- ・源栄支部長から上記について、3000円で販売している旨を周知するよう報告があった。

12) その他

- ・事務局から東北建築賞について、作品賞（小規模建築部門 5 件，一般建築部門 24 件），研究奨励賞部門に 3 件の応募があった旨，報告があった。

3. 審議事項

- 1) みちのくの風 2016 の会場について
 - ・源栄支部長から【資料 12】に基づいて説明があった。日程については中島会長の来年度支部訪問にあわせて 6/18, 19 に決まっている。場所については，順番通りであれば秋田になるが宿泊施設の問題もあり，審議の結果，来年は震災後 5 周年も兼ねて仙台で開催することになった。次々年度，秋田開催の方向で段取ることになった。
- 2) 日本建築学会文化賞の推薦依頼について
 - ・事務局から【資料 13】に基づいて説明があり，支部と支所に本件周知することになった。
- 3) 日本建築学会教育省の推薦依頼について
 - ・事務局から【資料 14】に基づいて説明があり，部会長に本件周知することになった。
- 4) 日本建築学会大賞の推薦依頼について
 - ・事務局から【資料 15】に基づいて説明があり，候補者がいたら支部に連絡いただくよう話があった。
- 5) 東北建築賞研究奨励賞について
 - ・小林常議員から【資料 16】に基づいて説明があった。
 - ・「建築教育分野」での申請事例があった。専門の部会が無い分野なので，誰が内規第 2 条の予備審査を担当するか決める必要がある。
 - ・専門の部会がある場合は部会で事前審査のうえ推薦してもらおうが，部会のない分野は支部役員会で審査することにし，内規に追記・明文化することにした。
- 6) 災害調査連絡会組織図と災害委員会市民企画について
 - ・源栄支部長から【資料 17】に基づいて説明があった。
 - ・災害調査連絡会の名簿を組織図に従いメンバーリストとして整備する（本部で運用しているメンバーリスト Disaster-A とは別に）。
 - ・各部会で主旨に沿った講演者を募り，8 月末までに講演者を源栄支部長および前田災害調査連絡会長に報告する。ただし，なるべく去年と重複しないように講演者を選ぶ。
 - ・原子力災害，津波，復興状況の報告について避けられないが，一般向けに話すにはデリケートな部分もある。
 - ・今年度は文化週間とイベントを重複させる必要がないので，会場利用料金の安い 11 月 2 日または 6 日のいずれかで実施することで検討を進める。
- 7) セメント協会と JIA 東北支部からの後援依頼
 - ・事務局から【資料 18】に基づいて説明があり，後援することに決まった。
- 8) その他
 - ・特になし

今後の予定

- ・9 月支部役員会 9 月 16 日（水）13:30～
- ・9 月支所長会議 9 月 16 日（水）15:30～
- ・9 月懇親会 9 月 16 日（水）17:00～